



国連世界観光機関 (UNWTO) 駐日事務所

2021年4月7日

国連世界観光機関 (UNWTO) 世界観光指標 (World Tourism Barometer) 2021年3月号について

本報道発表の原文（英語）は、下記リンクにてご覧いただけます。

世界観光指標原文（英語）は、下記リンクにて抄録（無償）

及び全文（有償）をご覧いただけます。 <https://www.e-unwto.org/>

2021年3月31日

マドリッド

2021年1月国際観光客到着数 87%減、UNWTO は観光再開に向けてより強力な連携を要請

2021年3月31日付 UNWTO 本部発表の和訳です。

原文はこちらから：<https://www.unwto.org/news>

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)のパンデミック(世界的大流行)による世界の観光への壊滅的な影響は 2021 年も継続し、新たなデータでは、1 月の国際観光客到着数が 2020 年と比較して 87%減少することが示された。国連世界観光機関 (UNWTO)は、観光の安全な再開と観光セクターへの大きな損失が来年まで継続することのないよう、各国間の渡航の手順に関する連携を強化するよう引き続き要請しており、今年の残りの期間の見通しは慎重なものとなっている。

World Tourism Organization (UNWTO) Regional Support Office for Asia and the Pacific
- A Specialized Agency of the United Nations

Silkia Nara 2F, Sanjo-honmachi, Nara, 630-8122, Japan Tel: +81(742)30-3880 Fax: +81(742)30-3883 Email: info@unwto-ap.org

2020 年の厳しい年末に続き、年始には変異株の蔓延に対応して**各国政府が観光目的の渡航に対して制限(以下「渡航制限」という。)を強化した**ため、世界の観光は更に後退した。**UNWTO の世界観光指標(World Tourism Barometer)**の最新版によると、年初の 1 か月間で世界の全地域で国際観光客到着数の大幅な減少が続いた。検査及び隔離の義務付けや、完全な国境閉鎖という場合もあり、これらのすべてが渡航再開の妨げとなった。加えて、ワクチン接種や配分が予定よりも遅くれており、観光再開を更に遅らせている。

世界の全地域で大打撃

1 月の国際観光客到着数の減少率が最も大きかったのは、引き続き渡航制限が最も厳しいアジア・太平洋地域（96%減）であった。ヨーロッパとアフリカではともに 85%減、中東では 84%減となった。米州は前期にはやや改善したものの、1 月は 79%減であった。

UNWTO のズラブ・ポロリカシュヴィリ事務局長は、「2020 年は観光にとって史上最悪の年となりました。2021 年をより明るい年とするため、国際社会は強力かつ緊急な行動を起こす必要があります。数百万人の生計やビジネスが観光に依拠しています。北半球の夏の観光シーズンよりも前に観光への信頼を回復して渡航を安全に再開させるには、各国間における調整と、渡航条件や衛生規範に関する協調が、不可欠となります。」と述べた。

2021 年の見通し

2 月初旬には全世界の国・地域の 32%が国際観光客到着数に対して完全に国境を閉鎖したことから、UNWTO は世界の観光にとって 2021 年の最初の数箇月間は厳しくなることを予測している。

現在の傾向から、UNWTO は 2021 年第 1 四半期の国際観光客到着数が 2019 年同期比で約 85%減となると予測している。パンデミック前の水準と比較して、**約 2 億 6,000 万の国際観光客到着数が減少**することを意味している。UNWTO は、今後の見通しとして、**2021 年について下半期（7 月～12 月）に国際観光客到着数が回復する**

可能性を考慮した 2 つのシナリオを示している。これらは多くの要素、特に渡航制限の大幅な解除、ワクチン接種計画の成功、欧州委員会(EU)が計画しているデジタル・グリーン証明書(Digital Green Certificate)のような互換性のとれた手順の導入等に基づいている。

一つ目のシナリオでは、2021 年の国際観光客到着数は 7 月に回復基調に転じ、歴史的な低水準であった 2020 年と比較して 65%増加すると指摘している。この場合であっても、到着数は 2019 年に記録された水準より 55%減となる。二つ目のシナリオでは、9 月に回復の可能性があるとしており、昨年と比べて到着数が 30%増になると考えている。そうであっても、2019 年の水準を 67%下回ることになる。

関連リンク:

[国ごとの観光業界全体の回復状況をリアルタイムで比較 \(UNWTO Tourism Data Dashboard \)](#)

[観光と新型コロナウイルス感染症 前例のない経済への影響 \(Tourism and COVID-19 – unprecedented economic impacts \)](#)

○UNWTO World Tourism Barometer (UNWTO 世界観光指標「バロメーター」)とは

UNWTO 世界観光指標 (「バロメーター」)は最新の世界の観光動向を示す統計指標で、UNWTO 本部から、年 6 回を目処に公表されます。国連世界観光機関 (UNWTO) 駐日事務所では、本部の公表にあわせてタイムリーに情報提供しています。

○国連世界観光機関 (UNWTO) について

UNWTO は、1975年1月に観光に関する国際機関として設立され、2003年に国連の専門機関に移行した観光に関する世界最大の国際機関です。観光の地位・競争力の向上、持続可能な観光の推進、観光を通じた貧困削減や開発の推進等を支援しています。

国連世界観光機関 (UNWTO) 駐日事務所は、UNWTO 唯一の地域事務所として、1995年に設立されました。同事務所ではアジア太平洋地域の交流促進を図り、観光を通じた経済発展や国際相互理解の増進を図るために、国際会議、セミナー、シンポジウムの開催や調査研究業務を行っています。

●お問い合わせ先(UNWTO 本部; メディア専用窓口)

E-mail: comm@unwto.org

Tel: (+34) 91 567 8100

※メディアの方は本部へ直接、英語でお問合せください

お問い合わせ方法につきご質問がある方は

UNWTO 駐日事務所までご連絡をください。

○一般のお問合せ先

国連世界観光機関 (UNWTO) 駐日事務所

(一般財団法人アジア太平洋観光交流センター)

担当: 吉田

電話: 0742-30-3880

E-mail: info@unwto-ap.org